

[滝川]

滝川の利根川放水路は、昭和30年代に計画流量 $90\text{ m}^3/\text{s}$ で建設されたが、その後の流域の都市化に伴う流出増により、滝川本川沿いに宅地の浸水被害が発生している。このため、平成9年度より放水路の拡幅工事を進めてきたが、本川と放水路の分水堰が未完成のため、宅地に浸水被害が発生するおそれがある。

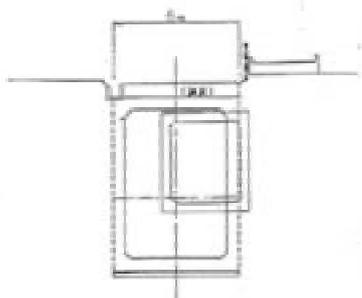
このため、本川と放水路の分水堰を整備することにより、概ね30年に1回程度発生すると予想される洪水を本川及び放水路により安全に流下させる。

施行の場所	放水路上越線滝川橋下流から滝川本川取水堰まで
延 長	L = 約100m
整備の内容	放水路、取水堰（古市堰）、分水堰

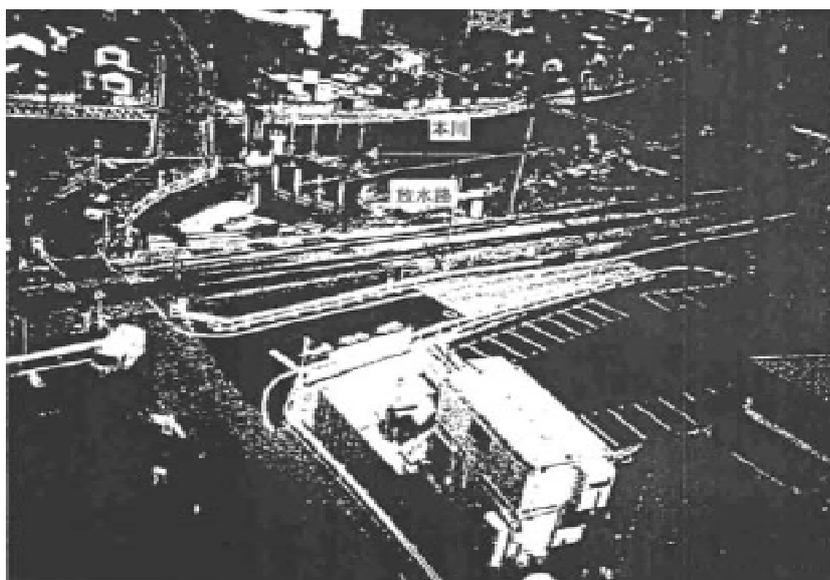


平 面 図 (縮尺 : 1/25,000)

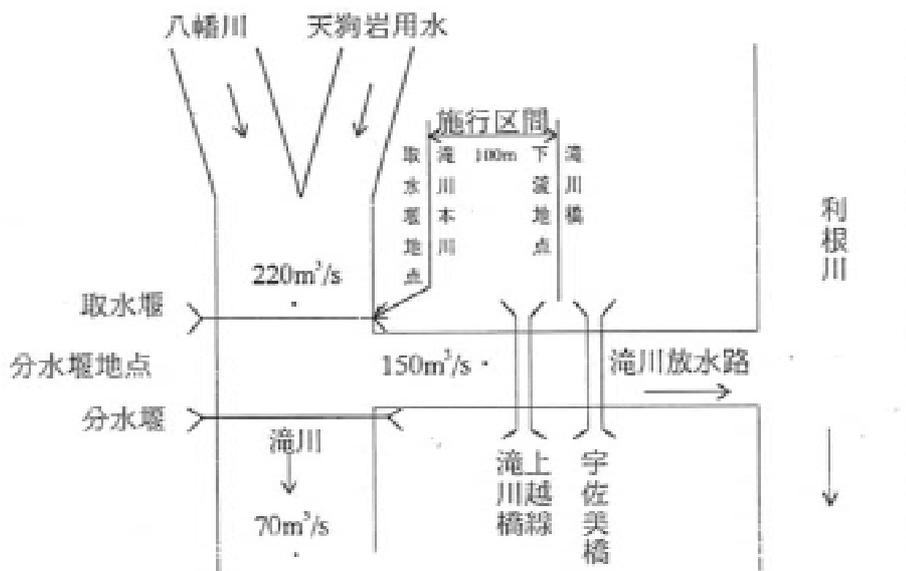
[滝川]



放水路部（滝川橋下流20m地点）



現況写真



計画流量配分図